



クラブ訪問 196

全力を出し切って関東大会へ挑戦

ミニバスケットボールクラブ
成田スネークーズ

私たち成田スネークーズは、小学1〜6年生の女子17人で活動しているミニバスケットボール（ミニバス）チームです。月・木・土・日曜日に加良部小学校などの体育館で練習しています。

練習では、始めに30分間のランニングを行った後、ドリブル・シュートなどの基礎練習や、実戦を想定したミニゲームを行います。今年から指導してくださっている中村コーチは、アメリカで選手としてプレーしていた経験があります。そのため、テンポの早い音楽を流してチームの士気を高めるなど、現地での練習内容が取り入れられています。

チームの課題は、本番でも全力を出し切れる強い精神力を持つことです。最近の大会では、練習試合で勝っていた相手に本番で負けてしまうことがあります。展開が早く、数秒単位で攻守が変わるミニバスは、少しの油断で勝敗が分かれます。そのため、普段の練習では、本番と同じ緊張感を持って取り組むようにしています。

私たちの目標は、関東大会に出場すること。そのためには、11月に行われる印旛郡市秋季大会で上位に入賞し、関東大会予選で2位以内になる必

要があります。普段は別々の小学校に通うメンバーですが、ミニバスが好きな人同士、チーム一丸となって厳しい練習を乗り越えていきます。



山下^{のあ}乃愛 キャプテン(6年生)

普段から声出しや視野を広く持つことを意識して、全員で勝ちに行くチームを目指します。



ゴールとの距離を意識して



試合形式を想定した練習

個性を大切に伸び伸び制作

さくららの会

私たち「さくららの会」は、毎月第2・4火曜日に公津公民館で絵画制作を楽しんでいるサークルです。主に取り組んでいるのは油絵で、現在は10月に開催する展示会への出品作を制作しています。

絵の題材は風景や花、ペットなど自由。有名画家の作品模写に挑戦する人もいます。特に模写では、自分で描くことで観るだけでは分からなかった作者の工夫や技術に気付かされます。難しさを痛感する一方、あらためて絵の奥深さに感動することができ、また勉強にもなります。油絵は何度でも絵の具を重ねられ、パレットの上では作り出せない色をキャンバス上で表現できるのが魅力です。行き詰まると、背景を真逆の色に塗り替えたり、すべて塗りつぶして別の絵にしてみました。時にはこれが



思い思いに制作



パステルで植物の特徴を捉えて描く

功を奏し、塗りつぶした下の色が新しい絵に深味を出してくれることもあります。ただし、制作はやろうと思えば延々とできてしまうので、やめ時が重要。判断がつかなくなったときは仲間に見えを求めます。一緒に活動しているからこそ、率直な意見をすぐに得られます。先生はメンバーの個性を大切に自由に取り組ませてくださいます。「構図が不安定だから、この部分を大きくしてみたら」など、さり気なくくださるアドバイスを基に一筆加えると絵の印象が見違えます。メンバーは7人いますが、見ただけで誰が描いたのか分かるほどタッチや色使いには個性が出るもの。描くことは自分を表現することもいえます。そして、絵画は全体が上手くいかなくても、どこかしらの色や線に納得がいくと愛着ある作品になります。そんな絵画制作の魅力を、これからも味わっていきたいです。



互いの作品鑑賞も楽しみの一つです

スクスクのびのび



なばら しま 名原 史真ちゃん(1歳)橋賀台

毎日笑顔をありがとう。お友達とたくさん遊んで大きくなあれ!!

おやなぎ こうすけ 小柳 公佑くん(1歳)橋賀台

たくさん遊んで元気に育ってね♥



すずき ふたば 鈴木 二葉ちゃん(6カ月)はなのき台

初めての寝返りに満足そう。笑顔に癒やされます。

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真に住所・氏名(ふりがな)・生年月日・親の名前・電話番号・30字程度のコメントを添えて広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ 広報課 ☎20-1503